

市地域福祉計画の概要まとまる

『にかほ市地域福祉計画』の概要がまとまり、2月8日、計画策定委員会を代表して澤田昭幸委員長と竹内鈴枝副委員長から市長に素案が手渡されました。第1回委員会が10月10日に開催された後、公募者を含む委員19人は子育て支援・高齢者支援・障害者支援・健康推進の各分科会に分かれ、4カ月間にわたって協議を重ねてきました。

年としています。

地域福祉の推進にあたっては、地域住民をさらに具体化したものです。同計画は健康にかほ21計画、障害者計画、高齢者支援計画、次世代育成支援行動計画等で構成され、計画の期間は平成19年度から同23年度までの5カ



▲澤田委員長・竹内副委員長から市長に素案が手渡される

地域福祉計画は、先に策定された「にかほ市総合発展計画」の福祉施策分野を補完し、次世代育成支援行動計画等で構成され、計画の期間は平成19年度から同23年度までの5カ

本計画は、生涯を通じた健康づくりの推進を実現するため、市の総合保健計画として策定するものです。

乳幼児から高齢者まで、住みなれた地域で生きがいを持ち、いきいきと健やかに暮らせるまちづくりを推進するため、次の目標を掲げ計画を推進します。

- 【計画の基本目標】**
- C B A 母子保健計画
 - 成人・老人保健計画
 - 精神保健計画

- E D 救急時対応計画
E 食育推進計画

政策A 母子保健計画

子育てのための情報、知識の提供や育児不安解消のための相談体制を強化し、母子保健事業の充実を図ります。また、むし歯予防、望ましい生活習慣の確立に取り組み、地域との連携のもと、支援体制を充実させていきます。

政策B 成人・老人保健計画

いじめや虐待、家庭内暴力、引きこもり、不登校、自殺など、心の問題に対する相談事業を充実させるとともに、早期に発見して対応できるような体制づくりに努めます。また精神障害者が生き生きとした生活が送れるよう、適切な保健福祉サービスの充実と、精神保健の啓発活動を推進していきます。

の割合が著しく高い状況にあります。このため、食生活や運動など、生活習慣の改善に重点を置いた対策を強力に推進し、自らの健康問題に気づき、生活を改善できるようになります。

B-1-2 身体の異常の早期発見を図る

にかほ市ではガン死亡率や脳血管疾患の発症率が高いにもかかわらず、年々各種健診の受診率が伸び悩んでいます。健診で発達等の問題がみられる子どもに対しては、専門職の協力を得ながら相談事業を充実させていきます。また予防接種は、接種率の向上を図っていきます。

政策C 精神保健計画

不登校、引きこもりなどの思春期問題に対する心の相談に対しては、学校と連携を取りながら、充実させていきます。また自殺予防対策を強力に推進するため、個別相談、うつ病予防の講演会等を実施するほか、自殺予防ネットワークづくりを進めます。



▲定期的に健康診断を受けることが病気の早期発見につながります

A-1 安心して妊娠・出産できる環境づくり
A-2 子どもを健やかに育てることができ
る環境づくり
A-3 むし歯のない子を育てる環境づくり

乳幼児健診では、育児等の悩み・不安の解消ができるような場となるように健診体制の整備や充実を図り、質の高い健診を目指します。健診時に行っている健康教育は、月齢に応じ、個々の生活環境に合わせた具体的な指導ができるよう努めます。

安心して妊娠できる環境づくりとともに、安全に出産まで過ごせる環境の整備も求められています。妊婦自身へのサポートのみならず、夫や家族、周囲環境へのアプローチも重要になっています。

全国・県と比べ、にかほ市はむし歯になっている子の割合が多い現状です。幼児健診と一緒に歯科健診を実施し、歯科衛生士からのブラッシング指導を取り入れています。また、妊娠に対して歯科健診の受診券を交付していますが、高い受診率につながるために、むし歯罹患率の低下につながるよ

第1章 生涯にわたる健康づくり（健康にかほ21計画）

地域福祉の推進にあたっては、地域住民をさらに具体化したものです。同計画は健康にかほ21計画、障害者計画、高齢者支援計画、次世代育成支援行動計画等で構成され、計画の期間は平成19年度から同23年度までの5カ

年としています。

地域福祉の推進にあたっては、地域住民をさらに具体化したものです。同計画は健康にかほ21計画、障害者計画、高齢者支援計画、次世代育成支援行動計画等で構成され、計画の期間は平成19年度から同23年度までの5カ

年としています。

地域福祉の推進にあたっては、地域住民をさらに具体化したものです。同計画は健康にかほ21計画、障害者計画、高齢者支援計画、次世代育成支援行動計画等で構成され、計画の期間は平成19年度から同23年度までの5カ